

猛暑を乗り切る！

戸田中学校 二年 宇野 慶佳

毎年夏になると、「今年が一番暑い！」と思うが、今年の夏もやっぱり「今年が一番暑い！」と、いやそれ以上の暑さだった。連日テレビのニュースでは、「38度」「39度」と今まででは考えられない異常気象を訴えていた。こんな夏だから、エアコンも全開の家が多いのか、外に出るとマンションの窓はほとんど閉まっている。祖母の車についている気温計では、日中「41度」を目にした。本当に「今年が一番暑い！」

そんな夏ながら、我が家は夏休みも扇風機のみで乗り切ってしまった。友達に言うのと驚かれるが、別に苦しく我慢していたわけではない。エアコンもなくはないが、冷えすぎの体調不良、室外機からでる熱風による外の気温の上昇を抑えられ、電気代の節約、エネルギーの節約を考えると良いことづくめなので自然と「使わない」のが我が家では当たり前になってしまった。

もちろん、暑い夏にはかわりはないのだから、そこには工夫も必要である。我が家はマンションだが、まず午前中

日当たりのよい窓は、カーテンを閉めて、まだ日の入らない窓であかりをとった。午後は南向きの窓と、西向きの窓のカーテンを閉め、午前中に閉めていたカーテンを開けた。こうすると、家中の窓は全開なので、風は通るが、日が入らないので家の中はとても涼しいのである。外出する時もカーテンを閉めていくと、帰宅した時に、もあつとした暑さはなく、うす暗いがひんやりしているのである。母は、洞窟の原理だと言っていたが、たしかにカーテン一枚でこんなに違うのかと感心した。

それでも、夜は暑くて寝苦しい時があつたので、今度は風の通りやすいリビングの床に蓐をひいて、雑魚寝をした。すると、ベッドで寝るより汗もかかず、ぐっすり寝られるのである。

食事もトマトやきゅうりなどの夏野菜は体を冷やし、ミネラル補給にもいいそうである。切って生で食べる野菜や冷奴はさっぱりしてとても美味しく、昔の人はちゃんと日本の気候にあつた生活をしていたんだなあと感心してしまつた。

戸田市はマンションも多く五万六千四百世帯の人が暮らしている。みんなですみずつエアコンを使う時間を減らす

工夫をしていくと、一人一人の節約は少しでも全体ではとても大きな効果が期待できるのではないだろうか。環境に優しくするのは、大人だけでなく、中学生の私にもできることは色々ある。来年の夏休みは、今年より更に暑いかもしれないが、もっと工夫してひろがる住みよい環境をつくる努力をしていきたいと思う。